



平成21年度
「基盤整備事業」
事業報告書

平成22年3月

社団法人 日本船舶品質管理協会

基盤整備事業は、本会の自己資金及び日本財団の助成金により実施する事業であって、平成21年度は、次のとおり4事業を実施した。

1 品質管理調査研究

事業場における自主検査体制の合理化又は品質の改善を推進するため、各種の調査研究を行い、関係先に対して意見交換、意見具申等を行うことを目的とし、次の事業を行った。

いずれも目標を達成することができた。

(1) 認定事業場の自主検査と検査制度に関する調査研究

① 認定事業場の検査に関する意見・要望等の調査

毎年要望の多いポンプに係る検査の方法の改善要望事項に関し、新たに「認定事業場の船舶検査に係るポンプ委員会」（委員長：岡田博 東京海洋大学名誉教授）を発足させ、要望事項を検討、整理のうえ統一要望書として取り纏め、国土交通省海事局へ提出した。

またその他の物件についても、上記と併行して「認定事業場の船舶検査の方法に関するアンケート調査」を行い、認定物件毎に要望事項を取り纏めた上で、国土交通省海事局へ提出した。

② 法定船用品の検査に関する意見・要望等の調査

GMDSS 救命設備の検査のあり方等について、会員の意見、要望等を聴取し、法定船用品整備事業場運営委員会において取り纏めた上で、国土交通省海事局と意見交換を行った。

(2) 船用品の改善・品質管理に関する調査研究

① 新たに型式承認された物件を調査、整理し、「国土交通省型式承認物件一覧表」（平成21年版）を作成し、会員等に配付した。

② 膨脹式救命胴衣等の点検整備技術講習会検討委員会の開催

膨脹式の救命胴衣、作業用救命衣等の普及状況、点検整備の現状等を考慮し、点検整備の必要性とその方法を一般ユーザーに周知するため、平成20年度より、ユーザーによる点検整備方法、膨脹式救命胴衣の整備技術講習会の実施方法及び講習会指導書の作成等に関する検討を行ってきたが、平成21年度には1回の検討委員会（通算第5回目）を開催し、検討結果を取り纏め、講習会の開催を決定した。

④ 膨脹式救命胴衣に係る基準等の見直しに関する検討委員会の開催

膨脹式の救命胴衣等の製品不具合の事例等を考慮し、平成20年度より、型式承認試験基準等の見直しの提言、製造事業者における品質管理、自主回収制度等に関する検討を実施してきたが、平成21年度には2回の検討委員会を開催し、「膨脹式救命胴衣等の型式承認試験基準等の見直しに関する提言」として取り纏め、国土交通省に対して要望として提出した。

(3) 船舶用消防設備の点検整備に関する調査研究

船舶用消防設備については SOLAS 条約の規定により、2002 年 7 月 1 日以降、整備が義務付けられ、定められた指針に基づいて、船員、点検整備事業者等がメーカーの助言を得ながら点検整備を実施している。会員の中の消防設備の点検整備を行っている事業者から、点検整備の方法の明確化と整備技術の向上を図りたいとの要望があったことから、検討委員会を設置して、船舶の消防設備の点検整備の方法と整備技術者の育成方法に関する検討を行うこととした。平成 21 年度中に 1 回の検討委員会を開催した。

(4) 新規認定物件に関する調査研究

認定事業場の申請を希望する事業者に対しその要領を指導するとともに会員への参画を勧誘した。(2社)

(5) 検査主任者会議の開催

(1) ①の調査で取り纏めた認定事業場の船舶検査の方法に関する業界の意見・要望事項について、各事業場の現場の検査を預かる検査主任者が一堂に会し、国土交通省海事局の担当官を交えて意見交換を行った。海事局からは業界の意見・要望を踏まえた「認定物件に係る検査の方法の改正(案)について」が示され、現場における対応方法等について意見交換を行った。

(6) 業種別部会の開催

① 救命艇装置部会の開催

救命艇装置部会を開催し、救命艇装置(救命艇及び進水装置)整備技術者を養成するための「救命艇装置の安全性向上のための人材養成事業」を実施するにあたり、救命艇装置整備技術講習会の実施について検討した。また、初期に認定した整備技術者の資格の有効期間が満了時期を迎えることから、資格更新のための研修会の基本方針について検討した。

② 消防設備部会/消防器具部会の開催

消防設備部会及び消防器具部会の合同部会を開催し、船舶の消防設備の点検整備の方法と整備技術者の育成方法に関する検討を行うため、「船舶用消防設備の点検整備に関する検討委員会」((3)参照)を設置して必要な検討を行っていくことを決定した。

(7) PL 保険に関する調査研究、保険の付保支援

平成 21 年度品管団体 PL 保険の付保支援を行い、44社が継続、1社が加入した。また、会員に対する製造物責任法(PL法)対策支援の一環として、リスクコンサルタントによる PL セミナーを、下関で開催した。

2 指導

船舶検査制度の適正、かつ円滑な運用に資するため、必要な指導や情報提供等を行

うことを目的に、次の事業を行った。

いずれも目標を達成することができた。

(1) 製造認定事業場継続調査指導

船用機器等の製造認定事業場29事業場の継続指導を実施した。そのうち、5事業場については、製造に必要な施設や関係書類の継続調査指導に加え、当該事業場が認定を受けてから5年目に該当したため、更新申請のための指導、助言並びに関係書類の確認を行った。また、更新に際しての現地審査の立ち会い指導を7事業場について実施した。これらのことから、認定事業場制度に基づく当該事業者の品質管理体制の維持、向上を図ることができた。

(2) 船用品整備事業場巡回調査指導

膨脹式救命いかだ整備認定事業場の12事業場及びGMDSS救命設備整備証明事業場の10事業場の巡回指導を実施した。

この中で、整備に必要な施設、関係書類等について厳正な維持、管理に努めるよう指導するとともに、GMDSS救命設備の整備に必要なシールドルームの電波漏洩状況を測定調査し、電波遮蔽状況が規定値内にあることを確認した。これらのことから、整備認定事業場等の品質管理体制が適切に維持されていることが確認できた。

(3) 内燃機関整備事業場調査指導

整備認定事業場取得を要望している内燃機関整備事業者のうち、その事業規模と必要度を勘案して、1事業場の指導を実施した。事業場の現地の実態調査を実施するとともに、整備認定事業場として必要な設備、技術・技量レベルの確保及び品質システム管理体制の構築等について指導した。

(4) 船用品整備情報の集中管理

当会では、整備物件管理システムを用いて、膨脹式救命いかだ整備事業場及びGMDSS救命設備整備事業場における膨脹式救命いかだ及びGMDSS救命設備の整備情報を集中管理し、会員へ整備情報を提供するとともに、海難発生時等における関係者からの問い合わせに対処し、また、各種統計資料の作成等に活用している。

平成21年は、膨脹式救命いかだ8,938台、GMDSS救命設備9,437台の整備情報を入力した。また、整備事業場からの問い合わせは582件あり、情報提供を行った。

(5) 型式承認物件の承認、変更等に関する指導

関係事業者からの型式承認物件の承認あるいは変更の手続き等についての問い合わせに対応し、適宜指導を行った。

(6) GMDSS救命設備積付け研修会の開催

GMDSS救命設備積付け資格者の技能の維持、向上を図るための研修会を開催し、所期の目的を達成した。

実施日	場 所	実 施 内 容
H21. 11. 20(金)	大阪リバーサイド ホテル (大阪市) (受講者 24名)	1. 船舶安全法及び関係法令の改正点 2. 機器取扱い上の留意事項 3. 積付け(積み降ろし)時の留意事項 4. 実技(積付け、外観点検時の注意事項)

(7) 磁気コンパスアジャスタ講習会・研修会の開催

日本コンパスアジャスタ協会と共催で、次のとおり、磁気コンパスの修正のための基礎理論及び基礎実技を取得するための講習会(A講習会)を開催し、また、コンパスアジャスタ(有資格者)の技能の維持、向上を図るための研修会を開催し、所期の目的を達成した。

	実施日	場 所	実 施 内 容
A講習会	H21. 8. 31(月) ～ H21. 9. 6(日)	東京海洋大学 品川キャンパス (東京都) (受講者 8名)	1. 自差修正、自差修正法 2. 傾船差理論、傾船差修正 3. 自差修正実技 4. 模擬試験
研修会	H21. 7. 14(火) ～ H21. 7. 15(水)	三原シティホテル (三原市) (受講者 13名)	1. 南半球へ航海する船舶の過大自差発生対策 ーフリンダースバーの適正な使用法ー
	H21. 8. 31(月) ～ H21. 9. 1(火)	東京海洋大学 品川キャンパス (東京都) (受講者 6名)	2. 自差修正に関する質疑応答

(8) イマーシオン・スーツ整備技術講習会の開催

イマーシオン・スーツの点検整備に関する IMO のガイドラインに対応し、点検整備を行う有資格者の養成、確保することを目的に、会員のイマーシオン・スーツ製造事業者 3 社と共同で講習会を開催し、新たに 13 名がイマーシオン・スーツ整備技術者として認定する等、所期の目的を達成した。



また、新たに船上において気密試験を含む点検を実施する関係者のための「気密試験コース」を設け、4 名がこのコースを修了した。

実施日	場 所	実 施 内 容
H21.7.14(火) ～ H21.7.15(水)	東京海洋大学 越中島キャンパス (東京都) (受講者： 整備技術者コー ス 13 名 気密試験コース 4名)	講義 1. 関係規則、整備要領 2. 構造材料等 実技 1. 点検整備 2. 気密試験、 3. 修理 (整備技術者コースのみ)

(9) 膨脹式救命胴衣等整備技術講習会の開催

膨脹式救命胴衣、作業用救命衣(膨脹式)、膨脹式救命浮環等の点検整備を行う者の整備技術の向上を図るため、会員の膨脹式救命胴衣等及び部品の製造事業者13社と共同で講習会を開催した。講習を修了した56名を膨脹式救命胴衣等整備技術者として認定する等、初期の目的を達成することができた。



実施日	場 所	実 施 内 容
H21. 11. 5(木) ～ H21. 11. 6(金)	東京辰巳国際水泳場 (東京都) (受講者：56名)	講義 1. 関係規則、整備要領 2. 構造材料等 実技 1. 点検整備、部品交換 2. 収納・折り畳み

(10) 品管時報及びSSニュースの刊行

定期的な刊行物として、国際海事機関(IMO)の船用品等に関する技術要件改正作業の動向、国内関係法令の改正、通達等の内容、その他会員の参考となる各種情報を内容とする品管時報及びSSニュースを定期的に発行した。

(11) ホームページによる情報提供

ホームページを適宜更新し、会員をはじめ多くの海事関係者に船用機器や船用品の製造・整備に関する各種情報を提供した。

3 救命艇装置の安全性向上のための人材養成

SOLAS 条約の改正により救命艇及び進水装置(救命艇装置)の整備については有資格者による年次点検等が義務づけられたことに対応し、これら資格を有する救命艇装置の整備技術者を養成、確保することを目的として、会員の救命艇製造事業者5社及び進水装置製造事業者3社と共同して講習会を開催している。21年度は海外の事業所に所属する技術者を対象とした海外向け講習会(英語を使用)



を2回開催し、合計91名に対し救命艇装置整備技術者の資格を付与する等、所期の目標を達成することができた。なお受講者の所属する事業所は、英国、ギリシア、ベルギー、ドイツ、イタリア、スペイン、ポルトガル、米国、ブラジル、アルゼンチン、中国、香港、韓国、シンガポール、インド、アラブ首長国連邦、トルコ、エジプト、南アフリカ共和国、ガーナの20カ国に及んだ。

実施日	場 所	実 施 内 容
H21. 9. 14(月) ～ H21. 9. 19(土)	東京海洋大学 越中島キャンパス (東京都) (海外向け講習会) (受講者 50名)	学科講習 1. 救命艇装置整備の背景、事故事例、関係規則 2. 救命艇の基礎知識、構造、操作要領、保守点検整備要領 3. 離脱装置の基礎知識、構造、操作要領、保守点検整備要領 4. 進水装置の基礎知識、構造、操作要領、保守点検整備要領
H22. 3. 1(月) ～ H22. 3. 6(土)	東京海洋大学 越中島キャンパス (東京都) (海外向け講習会) (受講者 41名)	実技講習 1. 救命艇装置の操作、保守点検整備 2. 離脱装置の操作、保守点検解放整備 3. ボートウインチの保守点検解放整備 技量認定試験 1. 学科試験 2. 実技試験

4 相談・表彰

会員企業の事業活動の円滑な推進等に資することを目的として、次の事業を行った。いずれも目標を達成することができた。

(1) 一般相談

検査制度及び品質管理全般について、会員或いは一般からの相談、質問等を受け、適宜対応した。

これらの各相談、質問等については、必要に応じ関係官庁等と連絡をとりながら、対応した。

(2) 海事功労者の各種表彰に関する推薦

叙勲、褒章、国土交通大臣表彰、運輸局長表彰等各種表彰の対象者として、船用機器及び船用品の品質管理に関する改善等を促進し、これを通じて造船及び関連産

業の進歩発展に寄与した会員を適宜推薦した。

なお、平成21年度本会関係者では、秋の褒章で2名、大臣表彰で3名、局長表彰で1名が受章した。

(3) 造船関係事業（設備・運転）資金融資支援業務の実施

日本財団の造船関係事業資金融資に関し、本会会員に対して「所属団体の申請内容に関する証明書」の発行を行うとともに、申請に対する支援を行った。

平成21年度に融資を受けた本会の会員数及び融資額は、次のとおりである。

（運転資金） 10件 1,100,000（千円）

(4) 各種公的給付金の受給に伴う証明業務の実施

事業主が従業員に対して専門的な知識・技能を取得させるため職業訓練を行う場合、当該訓練に係る経費や賃金について、国から所定のキャリア形成促進助成金（訓練給付金等）が支給される制度がある。本会の主催する講習会・研修会は、これに該当するものとされ、平成21年度もこれら受講した者について本会が証明団体として申請のあった会員企業に対し受講証明を行った。

5 刊行物

- (1) 品管時報（6回）
- (2) SS ニュース（5回）
- (3) 国土交通省型式承認物件一覧表
- (4) イマーション・スーツ整備技術講習会テキスト
- (5) 膨脹式救命胴衣等整備技術講習会テキスト
- (6) 救命艇装置整備技術講習会指導書（英文）